

第2回分科会における意見内容

凡 例		
● 庁舎・支所	● 学校	— JR
● 公共施設	● 商業施設	— 近鉄
● 病院	● 神社・寺・遺跡等	— コミバス(着色)
● 郵便局		— 路線バス
		— 他市町コミバス

■全コミュニティバス共通
 ・サービスレベルの向上による利用者増により、運賃収入の増加をはかることで、運賃経費の増額分に対する負担を少なくしていく。
 ・1時間間隔での運行を行う。
 (加茂コミュニティバスは2時間間隔)

■山城路線
 ・無料から有料になるが、利用者は見込めるのか。
 →今はやすらぎ苑の利用者がほとんどだが、一般の人にも利用できるようにすることにより、利用増は見込める。

・棚倉駅の東側に利用者が多いと思われるため、東側を走行するルートも考えられないか。
 →棚倉駅周辺は、鉄道の利便性が高いため、棚倉駅周辺以外の利便性を重視するルートが良いのではないかと。

・森林公園へバスで行きたいと考えている利用者もいる。

・規制速度が20km/hであり、大型車は通行できない。
 ・市道から国道24号の合流は難しい。

・交通空白地域になるため、予約制路線を運行してはどうか。

・井平尾の集落内を運行してはどうか。
 (7~9時まで一方通行)

加茂コミュニティバス 登大路・奥畑線
5.8km (17分)

加茂コミュニティバス 加茂通学線
8.9km (32分)

加茂コミュニティバス 銭司線
5.7km (13分)

加茂コミュニティバス 山田線
4.5km (15分)

加茂コミュニティバス 大畑線
5.6km (17分)

加茂コミュニティバス 南加茂台線
2.7km (11分)

■加茂コミュニティバス全線
 ・バスを利用したいが現行のルートやダイヤでは、利用できない人も多い。
 ・現況データから判断するのではなく、実証運行の結果を見て判断してほしい。
 ・加茂から市役所へ行く場合、バス運賃とJR運賃が必要になり、他地域と比べて格差があるのではないかと。

・東山公園でUターンせずに、南加茂台を循環してほしい。

・循環させてはどうか。

■当尾線全線
 ・京都府の過疎補助金を適用している。
 ・観光を育てるためには、通年が必要である。
 ・観光路線は、しっかりとしたサービス水準を提供すれば、運賃が安くなくても利用してくれる。

当尾線
9.4km (26分)

きのつバス 鹿背山~高の原駅コース
9.7km (35分)

きのつバス 梅谷~高の原駅コース
14.0km (50分)

きのつバス 木津川台~高の原駅コース
11.6km (44分)

・東西自由通路が若者のたまり場となっているので使いづらい。

精華町

木津地域

加茂地域

奈良市

■きのつバス全線
 ・終日、きのつバスを運行することによって、補助を受ける等、市の負担をできるだけ少なくすることはできないか。
 →実証運行の3年間は、国庫補助金をもらっていたが、現在は京都府の未来づくり交付金を使っている。

